

新たな組織破壊を許すな！ 松崎弾劾行動におそれ会場を変更

日刊 動労千葉

1988.7.29

No.864

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（公衆）〇四七二二二七二〇七

7・22松崎講演会弾劾！ 千葉駅前抗議行動に起つ

七月二二日、動労千葉は、この日千葉市で開かれた「松崎講演会」なるものに対し、千葉駅前において徹底的にこれを弾劾・抗議する街頭宣伝を貫徹した。

弾劾おそれ逃げる松崎 開催場所を急拠変更

いま革マル・鉄道労連は、「八・八統一周年」に向けて七五%の組織率達成を、当局と一体となり進めている。

しかし、「選挙なみの行動」「二〇〇〇万枚のビラ配布」「助役・管理者への激励」という動労革マル・鉄道労連の行動もむなしく、いまだ達成しえない状況だ。

そして、われわれ動労千葉が存在し闘い続けている千葉においての鉄道労連の組織率は五〇%にも満たない。このことにアセリにアセリた松崎が「講演会」を千葉に設定した。だがこの日、千葉のりこんだものの、動労千葉の抗議行動を知るや、急拠「講演会」の開催場所を労働者福祉センターから市内パークホテルに変更した。しかも、そのうえに権力への護衛を請い願うありさまだ。

千葉駅前で松崎・革マル・鉄道労連 を徹底弾劾

十一時、「講演会」開催時刻に合わせてわれわれの街宣が開始された。動輪旗とプラカード、宣伝カーそしてゼッケンに身を包んだ動員者が駅頭を席卷した。

『JR幹部が、ファシスト革マルと手を組んでの不当な攻撃』
『革マル・松崎と結託して組合つぶしの違法行為を続ける悪質JR当局の蛮行』
を多くの市民に暴露し、同時にビラで訴えた。

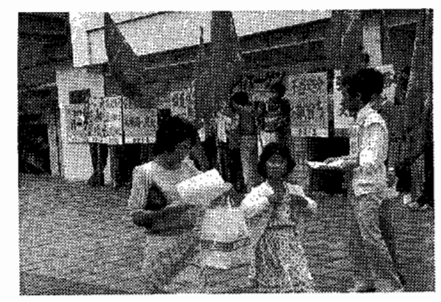
闘いは続く、更なる組織強化を

約二時間の街宣を終え、場所を変えて小集会をもった。その中で山口副委員長より「先日、革マルと手を組む本社人事部長・力村が千葉支社へ来た。そして今日は松崎が来ている。まさに当局・革マル一体の攻撃だ。四・一を機にした新たな組織破壊攻撃に対し、われわれはストを頂点に闘

7・24厚木基地包囲行動に参加！



釣り船と自衛隊潜水艦「なだしお」の事故への怒りも新たに、「基地撤去を誓い合う。」



千葉駅前の市民は、動労千葉の「松崎講演弾劾・鉄道労連弾劾」行動に注目する！



って来たし、今後もそうする。本日の行動もその一つだ。われわれは闘い続ける。さらに組織を強化しよう」との総括を受けてこの日の行動を終了した。